

研究課題

腎機能低下者におけるペマフィブラート投与による有効性と安全性

1. 研究の意義と目的

ペマフィブラートは腎排泄型薬剤ではないため、腎機能低下者においても比較的安全な薬剤と考えられます。そのため、その有効性と安全性を確認するため本研究を計画しました。

① 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月31日

② 対象者

2019年8月～2021年4月30日に間に当院を受診された患者様のうち、血清クレアチニン値が1.5mg/dL以上又はクレアチニンクリアランスが60mL/min未満でペマフィブラートが処方された患者様。

③ 研究方法

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

2. 情報の保護・廃棄・取扱い

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合は2022年11月30日までに下記問い合わせ先にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部

櫻井 淳二